

バグダッド日誌(12月13日)

○ 日本語はこんなカンジ?

- ・ 昼食後、LO6名でデザートを食べながら雑談中の会話。エル・サルバドルLOが「俺の名前を日本語で書いてくれよ」と頼んできた。彼の名前は「XXXXXXXXXX」私が書いたのは「令・減何出巢」(我ながらセンスがない)
(カ:カザフスタン中佐、グ:グルジア大佐、ウ:ウクライナ中佐、ボ:ボスニア大尉、エ:エル・サルバドル中佐、日:私)

エ:「これが俺の名前か」

日:「そんなカンジかな。発音が似てる漢字を並べただけだけど、難しいな」

みんなが珍しそうにのぞき込む。

ボ:「日本語には3000字ぐらいあるって聞いたけど本当か?」

日:「3000字どころか、もっとあると思う。」(ひらがな、カタカナ、漢字を説明)

ボ:「そんなにあったら、覚えるのも大変だろ。5年くらい日本に住んでも、日本語を読んだり、書いたりできそうもない」

日:「外国人には難しいだろうな。オレの子供達も未だに日本語を全部は読めないくらいだから。」

グ:「よし、それぞれの国の言葉で、XXXXXXXXXXの名前を書いてみよう。最初にオレが書く。」(唐突に言い出し、書き始めるが、ラーメン鉢の縁の絵のような妙な変な字を書いている。)

日:「これ、グルジア語?」

グ:「そうだ……」(しばらく書いてからおもむろに)「オレから見ると日本語(漢字)はこんなカンジに見える」

一同納得顔…我々がアラビア語やロシア語を見ると記号が模様のように見えるのと同じなのだろう。 (XXXXXXXXXX)

○ 男は死ぬまで年を取らない!

- ・ ブルガリアLO(陸中佐)は、私と同じ年齢である。事務所の外で彼と話しをしていると、この寒い中ボスニアLO(空大尉)が半袖シャツ1枚で外に出てきた。

日:「おまえ寒くないのか?」

ボ:「いいや。丁度いいくらいだ。」

ブ:「俺らは年なんだよ。」

日:「そうだよな。年食ったよな。」(目も見えにくくなったし、厄年を過ぎて本当に年を食ったと感じていた。)

ボ:「何言ってるんだ! ボスニアでは『男は死ぬまで年をとらない』(Men never be old!)という。年取ったなんて言うのは、男じゃない!」(真剣に語り始める)お前は、空手の有段者だから、男なんだ!だから、死ぬまで、年食った(I'm too old)なんて言ったらだめだ!」

日:「ウッ…分かった」(こいつカッコイイこと言うな…と思いながら、最近是一年食ったと言訳を連発していた自分を反省した。 (XXXXXXXXXX)



バスラLO日々業務報告(12月13日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX (警戒態勢) : XXXXXXXXXX
2 特記事項	(1) XXXXXXXXXX (2) XXXXXXXXXX (3) XXXXXXXXXX
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : XXXXXXXXXX (3) 定例会議への出席 : 司令部朝会議・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) 空路輸送調整
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議への出席 (3) 空路輸送調整
5 その他(備考)	